

## 導入事例

オフィス、店舗等、業種を問わずさまざまな施設へ導入。  
地震の発生を事前に把握することで、  
従業員とお客様のスムーズな避難を促し、身の安全を守ります。



### お客様への危険を回避したい

一般病院、歯科、理容室、  
美容院、飲食店等

10秒後に  
震度3の地震



### 従業員の安全を第一に考える

自動車修理工場、倉庫、  
金属加工工場、ビル建設現場等

3・2・1・0



## BCPにお役立てください。

BCP(事業継続計画)の重要アイテムとしてご利用下さい。BCPの充実により緊急事態への対応力の向上につながります。  
※BCPとはBusiness Continuity Plan(事業継続計画)の略です

配信開始  
までの流れ

緊急地震速報  
装置のご購入

### 配信サービスの申込

配信サービス利用申込書  
に必要事項をご記入のう  
えお申し込みください。

### 配信サーバーに登録

申込書がアース・キャストに到着後、お客  
様の設置先住所を営業日2~3日で配信  
サーバーに登録作業が完了します。

### 配信開始

機器の設置をお願いします。通信確認ができ  
ると画面上部に「OK」と表示されます。説明書に従  
い、配信テスト等の試験発報をお願いします。

## 取扱商品

### DPASS

※DPASS(ディーパス)とは、Disaster ProActive Support System の頭文字をとったもので「災害対策支援システム」を意味します。



【本体 SH600-J】  
寸法: W220mm×H69.2mm×D220mm(突起部除く)



【子機 SH600-J-S】  
寸法: W60mm×H60mm×D60mm(突起部除く)

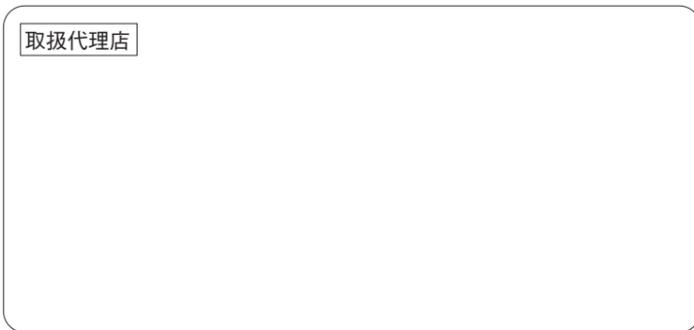
サービス内容のお問合せは



各機器の詳しい仕様は



取扱代理店



## 高度利用者向け

# 緊急地震速報

(E・C緊急地震速報配信プレミアムサービス)

「揺れる前に知る」  
安心をお届け

15秒後に  
震度5強の地震が来ます  
津波警報発令中!  
指定の避難場所に  
避難してください

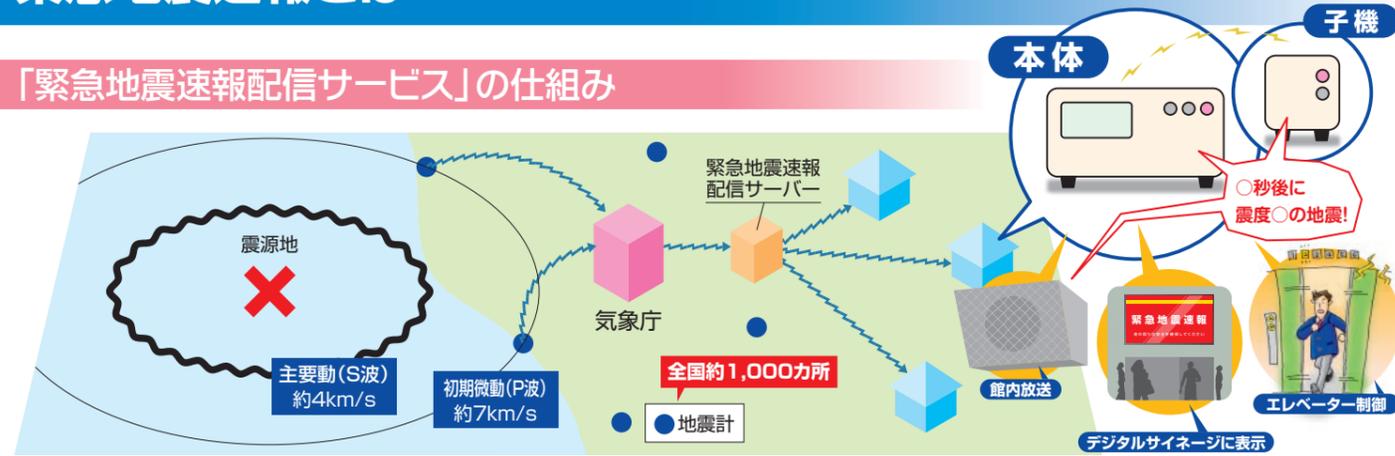


津波情報配信開始



# 緊急地震速報とは…

## 「緊急地震速報配信サービス」の仕組み



## 「高度利用」は「一般利用」のテレビやラジオ・携帯電話とは違います。

●テレビやラジオ・携帯電話を利用して速報される「一般利用」に比べ、専用端末とインターネット回線を利用して速報される「高度利用」は、より早く正確な情報を受信・伝達することができます。

### 高度利用と一般利用の違い

高度利用	項目	一般利用(テレビ・ラジオ・携帯電話など)
<b>ピンポイント:</b> 専用端末を設置した場所で予測	予測エリア	広範囲に予測:全国を200エリアにわけた地域で予測
<b>自由に設定:</b> 発報対象は震度1から7まで自由に設定	震度設定	固定:震度5弱以上の地震で発報される(発報エリアは震度4以上)
<b>カウントダウンあり:</b> 地震到達時間を予測しカウントダウン	カウントダウン	カウントダウンなし:カウントダウンは行わない
<b>詳細:</b> 「震度〇の揺れが～」と具体的に表現	発報表現	あいまい:「大きな揺れが～」とあいまいに表現
<b>常時受信できる:</b> 専用端末で24時間365日受信可能	常時受信	常時受信できない:TV等の電源が入っていないと受信不可能

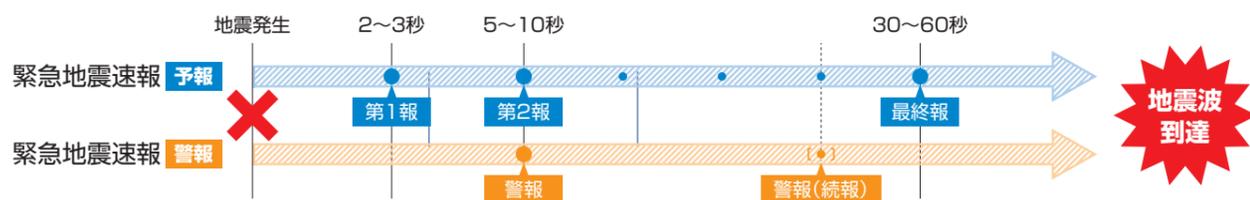
## 過去の事例 東日本大震災のケース

平成23年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震の際、「高度利用」の緊急地震速報は、初期微動(P波)が検知された8.4秒後に発表されました。これは、主要動(S波)が太平洋岸に到達する数秒前で、**仙台では約16秒、東京では約63秒**の猶予時間がありました。



## 緊急地震速報は「警報」と「予報」の二種類

●緊急地震速報には、大きく分けて「**警報**」と「**予報**」の二種類があり、DPASSはどちらにも対応しています。地震波が2つ以上の地震観測点で観測され、最大震度が5弱以上と予想された場合に「**警報**」が、その中で6弱以上の震度が予想された場合に「**特別警報**」が発令されます。



# 津波情報にも対応!

海底下で大きな地震が発生すると、海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するものを津波といいます。気象庁は、地震が発生時に地震の規模や位置をすぐに推定し、これ

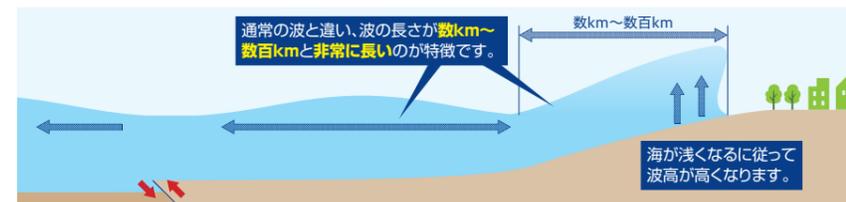
らをもとに沿岸に到達する津波の高さを予想。津波が到達する可能性のある場合、地震発生から**約3分**を目標に**大津波警報、津波警報、津波注意報**を津波予報区ごとに発表します。DPASSでは、その情報を受信し、避難誘導音とともに音声でお知らせします。

## 津波発生のメカニズム

① 地震により海底・海面が隆起。



② 海面変動が長く大きな波となり伝播し、沿岸へ来襲します。



### 発報の種類と予想される津波の高さ

<b>大津波警報</b>	3mを超える場合。
<b>津波警報</b>	1mを超え、3m以下の場合。
<b>津波注意報</b>	0.2m以上、1m以下の場合(津波による災害のおそれがある場合)

## 細分化された津波予報

### 全国66カ所

全国66カ所に細分化された津波予報区から設置場所に適したエリアを登録。具体的な情報を配信します。

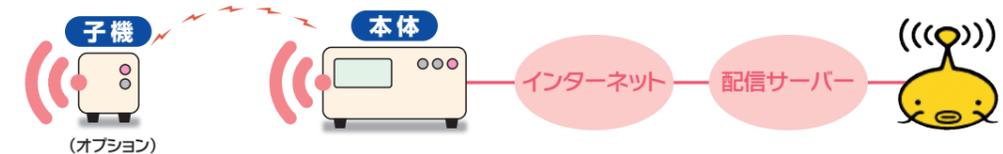


# 導入方法

異なる方法で、さまざまな建物に対応します。

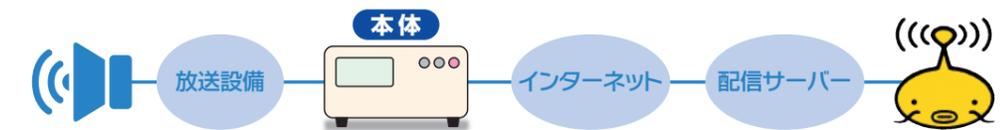
## 小規模事業所向け(保育園など) 単体で受信・発報する場合

設置方法は、本体機器をインターネットに接続するだけなので、とても簡単。本体から音声で発報し、揺れが到達するまでの時間をカウントダウンしながら伝えます。また、子機(オプション)を建物内の別の部屋に設置することで、無線接続で本体と同時に伝えることができます。



## 大規模事業所向け(ビル・工場など) 館内放送に対応させる場合

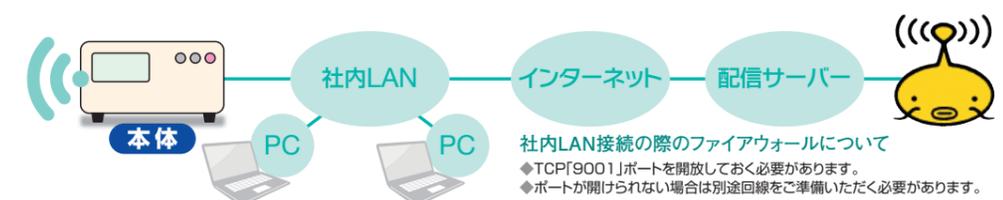
本体機器1台にて館内放送設備に接続ができます。放送設備との音声ディレイ(遅延)はもちろん、発報の震度設定を本体自身と館内放送設備に分けることも可能です。館内放送設備と連動し発報することにより、ビルや工場等の大きな建物でも本体機器1台の設置で、大勢の人たちの安全確保に役立てることができます。



## オフィス向け

### 社内LANに接続する場合

機器本体に固定IPアドレスを付与し、社内LANへ接続することができるため、社内ネットワーク内の機器として設置可能です。※社内ネットワークの一部開放、固定IPアドレスのご指定及びネットワーク情報が必要となります。



社内LAN接続の際のファイアウォールについて  
 ◆TCP/9001ポートを開放しておく必要があります。  
 ◆ポートが開けられない場合は別途回線をご準備いただく必要があります。